

# トイレの建材選びと清掃のポイント

病院や福祉施設のトイレは、一般の公共施設と比較すると感染に配慮した特別なメンテナンスが行われることが多く、適切な対処が必要です。特に具体的にメンテナンスのポイントに注意して、建材にあった清掃資材を選ぶことは、専門的な知識がなければなかなか難しいところです。以下に、病院や福祉施設のトイレを設計・清掃する上で知っておきたい建材とメンテナンスの知識を表にまとめました。ぜひ、ご参考にしてください。



**ブース内の移動** 当研究会による検証により、高齢者の場合主に手すりまわりの壁に手が触れることがわかりました。仮想病院トイレで、高齢者シミュレータを装着して手指に蛍光剤を塗り、実際の使用行動を再現。

## 塩素系殺菌剤の正しい使い方

塩素系殺菌剤は殺滅できる微生物の種類も多く、安価で、病院環境の浄化の際に、「これさえ使用しておけば安心」という便利さから、間違った使用方法が見受けられます。塩素系殺菌剤は汚れや紫外線に非常に弱く、すぐに殺菌力が落ちてしまいます。また、あまりに広範囲に使用することで、設備素材の腐食や変色、脱色を早め、汚損事故が後を絶たない状況です。

塩素系殺菌剤の使用の際には、以下の事を守りましょう。

1. 塩素系殺菌剤以外の薬剤で効果があるか考慮する
2. 汚れをできるだけ除去した後に使用する
3. 通常の消毒は200ppm
4. 感染性微生物汚染の場合は1000ppm
5. 使用ごとに希釈し、使い捨てとする
6. 必要以上に広範囲に使用しない
7. 20分以上放置しない
8. 最後に水でリンスをする

殺菌剤によっては、  
建材を傷めてしまいます！



トイレに使われるワックスは、消毒液(エタノール/次亜塩素酸ナトリウム)で白化することがある。

塩素濃度の高い洗剤により腐食した金属部品。薬品類は適切な濃度で使用することが重要。

## リスク分類別に応じた最適建材と清掃薬剤の例 (リスク分類: ノンクリティカル)

対象	トイレの例	推奨建材	建材選びのポイント! ※注1	清掃名	方法	頻度
① ほとんど手が触れない 水平面	床 小便器下	<b>【床】</b> <b>病棟 多床室トイレ</b> 発泡複層ビニル床シートHS 衝撃吸収性・特殊抗菌低光沢 UVコーティング ACフロア(田島ルーフィング) ACフロア <b>外来トイレ</b> リノリウム床シート 抗菌性・抗ウイルス性・脱臭効果 マーモリウム(田島ルーフィング) マーモリウム <b>【小便器下】</b> セラミックパネル/ハイドロセラ・フロアPU (TOTO) ハイドロセラ・フロアPU	<b>【床】</b> 病院での転倒事故や使用される消毒薬を考慮すると、衝撃吸収性と適度な防滑性があり、消毒薬(エタノール/次亜塩素酸ナトリウム)に強いUVコーティング床材や耐薬品性のあるワックス等を使用することが望ましい。 <b>【小便器下】</b> 尿の汚れが付しやすい小便器下には光触媒でニオイを分解するセラミックパネルを採用するとニオイを抑えることができる。	日常清掃 汚染時清掃 退院時清掃(個室清掃)	洗剤を含ませたマイクロファイバークロス等で清拭 汚染物を取り除き、塩素系殺菌剤1000ppmで10分放置後、洗剤を含んだマイクロファイバークロス等で清拭 隅々のホコリをていねいに除去後、洗剤を含んだマイクロファイバークロス等で清拭	1日1回程度 随時 退院時
② ほとんど手が触れない 垂直面	壁 トイレブース	<b>【壁】</b> メラミン不燃化粧板/セラル(アイカ工業) 化粧けい酸カルシウム板(ポリ樹脂系)/ハイボード不燃(アイカ工業) 化粧けい酸カルシウム板(塩ビシート系)/オルティノパネル(アイカ工業) セラル <b>【トイレブース】</b> メラミン化粧板	垂直面(壁)とはいっても手すりまわりや、スイッチまわりは頻繁に手が触れる部分なので※注2、定期清掃や定期消毒を意識した壁材が望ましい。拭き取りやすく耐薬品性に優れたメラミン不燃化粧板を採用することで、清掃しやすい空間にすることができる。大板なので、カビや汚れたまりの原因となる目地を極力減らすことが可能。	汚染時清掃	汚染物を取り除き、塩素系殺菌剤1000ppmで清拭後、洗剤を含ませたマイクロファイバークロス等で清拭	随時
③ 頻繁に手が触れる 高頻度接触表面	手すり スイッチ類 紙巻器 便座 洗面カウンター	<b>【手すり】</b> 樹脂・ステンレス <b>【スイッチ類】</b> 樹脂・ステンレス <b>【紙巻器】</b> 樹脂・ステンレス <b>【便座】</b> 樹脂 <b>【洗面カウンター】</b> 樹脂	染み込みのない素材で、拭き取りしやすいシンプルなデザインのもの望ましい。	日常清掃 汚染時清掃	マイクロファイバークロス等に含ませて清拭または低水準消毒剤、小範囲ならアルコールで清拭※注2 汚染物を取り除き、塩素系殺菌剤1000ppmで清拭後、洗剤を含ませたマイクロファイバークロス等で清拭※注2	1日1回程度 随時

※注1: 建材選びのポイントは、日常清掃や汚染時清掃を考慮したものです。アウトブレイク時に使われる高濃度の薬品に対応する建材は限定されるため、日常の安全性や清掃性を考慮したものを、おすすめ建材としています。  
 ※注2: 温水洗浄便座では、次亜塩素酸ナトリウムは長時間の放置はせず、必要に応じて消毒後に薬剤を十分拭き取る。

## 低水準消毒 (ほとんどの栄養型細菌、ある種のウイルス、ある種の真菌を殺滅する)

### 清掃用薬剤の例

0.2%塩化ベンザルコニウム溶液

参考文献: 小林寛伊編集『新版 消毒と滅菌のガイドライン』(へるす出版)

## その他

### 便座除菌クリーナー

アルコール45~55%



### ピュアレットS消臭(シーバイエス)

トイレットペーパーに噴きかけて使用ください。